



木村洋子議員
(日本共産党)

希望に沿った宅地配分を

被災時の宅地の規模による

問 織笠地区の防災集団移転促進事業の土地坪単価は。

佐藤町長 織笠地区の高台団地の分譲価格は、一坪当たり5万4450円〜6万9630円である。

問 どのような計算方式でそうなったのか。

町長 不動産鑑定士による取引事例比較方法により算出している。

問 宅地配分は被災世帯の希望に沿ったものとなっているか。

町長 所有していた宅地の規模により決定し、約50坪・70坪・100坪の標準宅地を決めており、大沢・船越・山田地区もこの3タイプで整備する。

問 問題は50坪以下の土地所有者である。震災か

ら3年以上経過し、家族の状況も変化している。家族が増えたことにより、50坪では手狭なため70坪を希望しても50坪台しか購入できない現状がある。町としての基準は分かるが、国の制度では上限を100坪としている。画一的でなく被災者

の状況も考慮した対応をすべきでは。
沼崎復興推進課長 被災時が基本となるため希望どおりにできない場合もあるが、町としては極力住民の意向は聞いていきたい。
問 災害公営住宅の敷金や共益費は。

町長 敷金は県の災害公営住宅と同様に免除すること考えている。共益費は共同で維持管理するために必要な費用であることから、入居者負担となる。

問 低所得世帯には、毎月の家賃に共益費となると経済的負担が重くなる。山田にいたくても入居継続できなくなり、遠方の子供の所に行かざるを得ない場合も出てくる。そうなれば、人口がますます減っていく。入居継続できるよう共益費の軽減策を考えるべきでは。

阿部建設課長 家賃の低廉化を実施しており、全体的なバランスも考えな

ければならないが、検討はしてみたい。
問 戸建ての災害公営住宅では、車を複数台持っている世帯も多いので、一区画45〜50坪は必要では。

町長 事業費のコスト削減など勘案し、一区画40坪とした。
問 入浴車等の利用に支障を来すのでは。

建設課長 やむを得ない場合は、道路上に車を止めて利用してもらいたい。

問 路上駐車は高齢者や障害者のため避けるべき。
建設課長 空きスペースがあれば駐車用途での利用も検討していく。



造成中の織笠地区高台住宅団地

その他の質問

◆豊間根中学校グラウンド周囲の道路は水たまりの状況がひどいが改善すべきでは